

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

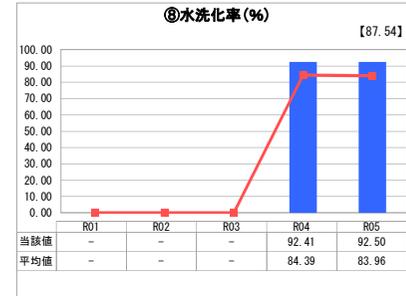
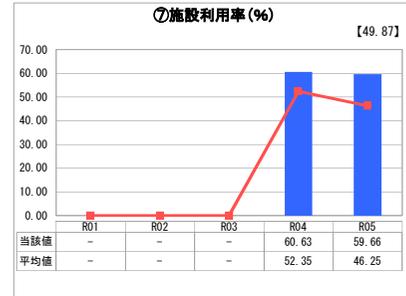
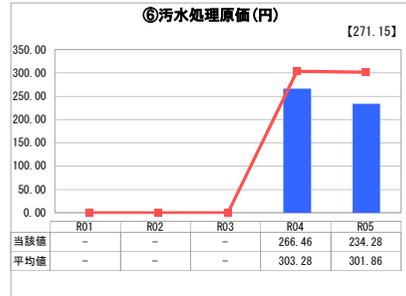
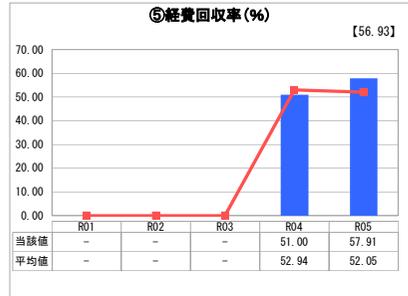
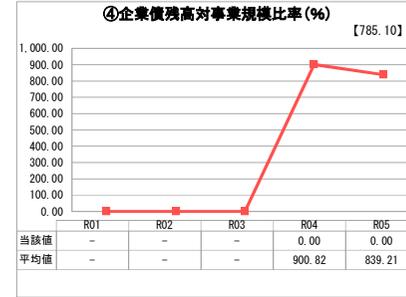
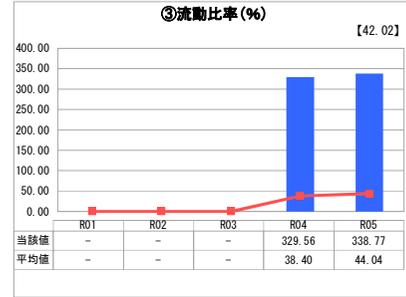
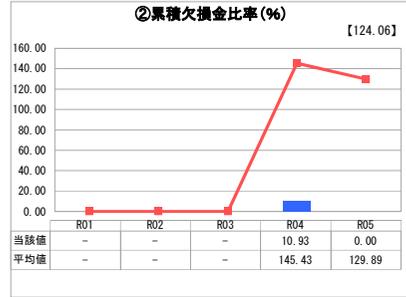
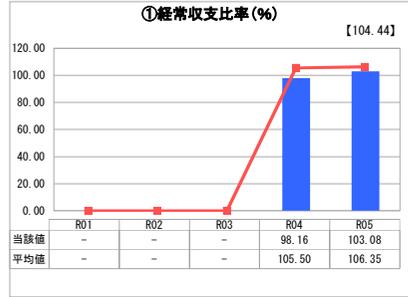
和歌山県 みなべ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	87.58	7.89	100.00	2,750

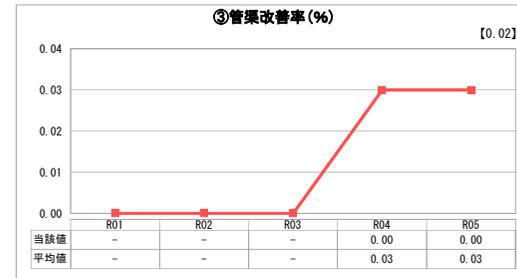
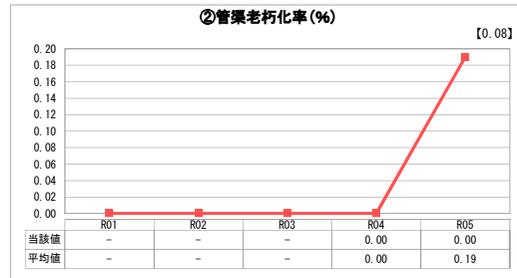
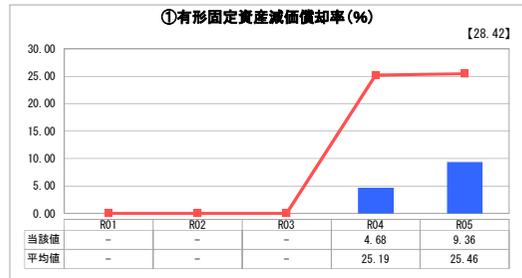
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,767	120.28	97.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
920	0.40	2,300.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は多少の上昇がみられ黒字を確保できた。昨年度に発生した累積欠損比率は、法適用企業初年度で特別損失が発生したことによるもので、令和5年度は0となっている。流動比率については昨年度同様に平均を大きく上回っている。経費回収率についても平均を上回ったが、本来100%であるべきところを大きく下回っており、これは多額の企業債償還額が原因である。

### 2. 老朽化の状況について

固定資産については修繕や更新を行っており、現在は健全な状況にあると考えられるが、今後は耐用年数を経過した施設の更新が必要となる見込であり、計画的な管理を行わなければならない。

## 全体総括

資産については健全な状況にあるが、施設や管路への過大投資により、企業債残高が使用料収入に対し多額となっているため、会計的には繰入金に頼っており厳しい状況である。今後は使用料改定の検討や、施設更新の妥当性の検討など、経営改善に向け長期的な計画を練る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。